[事案 2020-323] 新契約無効請求

・令和3年11月18日 裁定終了

<事案の概要>

契約内容が募集人の説明と異なっていたことを理由に、契約の無効を求めて申立てのあったもの。

<申立人の主張>

平成29年4月から5月にかけて加入した米ドル建終身保険（契約①）、米ドル建終身保険（契約②）、収入保障保険（契約③）について、以下の理由により、契約を無効として既払込保険料を返してほしい。

- (1) 契約①②は、契約時より一貫して募集人から「2.8%の固定金利商品である」と説明され、自分はその言葉どおりに認識していたが、実際はそうではなかった。
- (2) 契約③は、自分が体調を崩して収入が途切れた時などに、契約①②の保険料の支払いに支障をきたさないよう併せて加入を勧められたものなので、契約①②に加入することがなければ、契約③に加入することはなかった。

<保険会社の主張>

募集人は、契約①②の募集において、「2.8%の固定金利商品である」と説明したことはなく、その他、契約①②③の募集行為に不適切な点は認められないことから、申立人の請求に応じることはできない。

<裁定の概要>

1. 裁定手続

裁定審査会は、当事者から提出された書面にもとづく審理の他、契約時の状況等を把握するため、申立人および募集人に対して事情聴取を行った。

2. 裁定結果

上記手続の結果、申立人が契約①②の内容を誤信して契約したとは認められず、その他保険会社に指摘すべき特段の個別事情も見出せないことから、和解による解決の見込みがないと判断して、手続を終了した。